

教職員の皆様へ

教育センターだより【7号】

令和元年7月17日発行



518-0485

三重県名張市百合が丘西5番町25番地

事務室・教育よろず相談 1F

Tel 0595-64-8801 Fax 0595-64-8802

E-mail:kyouiku-ce@city.nabari.mie.jp

minakuru01@nabari-mie.ed.jp

ホームページ <http://www.nabari-mie.ed.jp/minakuru/>

適応指導教室（さくら教室）2F

Tel 0595-63-7830 Fax 0696-63-7830

E-mail:sakura@nabari-mie.ed.jp

学校ボランティア室 1F

Tel 0595-64-8864 Fax 0595-64-8802

2020オリンピック・パラリンピックの英語教材あります！

今、教育センターに新しい外国語（英語）教材が届きました。2020年東京でのオリンピックとパラリンピックを題材とした授業で使える教材です。「I'm POSSIBLE」というタイトルのテキストで、小学校用と中学校用の両方があり、CDも付属しています。

オリンピックとパラリンピックの紹介だけでなく、外国語科（英語科）の授業で扱うためのワークシートや、その活用法を記した教師用マニュアルもあります。「この時期だからこそ授業で使ってみようかな」と思われる先生は、ぜひセンターへお越しの際にはご覧いただければと思います。事務室に声をかけてください。



若手スキルアップ研修 〔報告〕

ちょっとした配慮で子どもが伸びる授業づくり —教師の話芸・手芸・映し芸—

奈良教育大学 特任講師 中村 武弘 先生

ほめ方のコツ、つまづきのある子どもに対してどう接するかなど、先生ご自身の経験からのお話や、心理学的なお話に至るまで、短時間ではありましたが幅広くお話をしてくださりました。「自尊心とは何か」「支援要求スキルを身につけるために」など、改めて考えさせられる視点を多く与えていただいたように思います。空所補充などで大切なキーワードを考えたり、グループごとに話し合うなど、楽しい雰囲気講座が行われました。



学校が楽しくなる「心を育てる」生徒指導

名張市教育委員会 指導主事 大杉 栄介 先生



「生徒指導とは何か」という問いかけから、2つのケース問題についてグループワークで討議したり、子どもとの距離感、優しさと厳しさについてなど、具体的な例を挙げながら、熱く丁寧にお話をしてくださりました。日常の指導の中で「こんな時どうしよう」と感じることも多く整理できたり、これまでにはない見方や発想も多く聴ける有意義な講座となりました。学校がチームとなって動くことの具体的な場面や方法など、「安心感ある集団の中で、緊張感のある活動を目指そう」という言葉が印象的でした。

自主研修講座始動！「プログラミング教育」

6月20日（木）、第1回目のプログラミング教育の自主研修講座が行われました。まずはプログラミング教育の概念やそのねらいを確認し、「プログラミング的思考（センターだより第5号に掲載）」がいかに思考力・判断力・表現力等の育成に関わっているのかなど、その重要性について研修しました。また、昨年度の自主研修講座で作成された「プログラミング教育実践事例集」によってまとめられた、各学年および各教科の中で、どのようにプログラミング的思考を活かして授業を行っていくのかの具体的な実践例や活用法についても学びました。後半では、タブレットを用いて「EV3」と呼ばれるロボットの操作をするなど体験的なことも交えながら、プログラミング教育への理解と知識を高め合う貴重な時間を過ごすことができました。



今さら聞けない。教えて、パールソン！

オッキー



パールソンは、パール+パーソンつまり「輝く人」を表すセンターオリジナルのキャラクターです。

カリキュラム・マネジメントって？

新学習指導要領では、子どもたちの姿や地域の実情を踏まえ、各学校の教育目標を実現するために教育課程を編成し、それを実施・評価・改善することが求められます。この一連の過程が「カリキュラム・マネジメント」です。

①カリキュラムデザイン(教科等横断的な視点で教育の内容を組織的に配列)、②PDCAサイクル(教育課程の編成→実施→評価→改善)、③内外リソースの活用(必要な人的・物的資源の活用)の3つの側面を持ちます。教育内容の質の向上に向け、そして学校教育目標の実現に向けて、学校組織や学校経営の見直しも含めて取り組んでいくことが求められるのです。

週末教育事業 水引細工で小物づくり

6月22日(土)の週末教育事業は、水引細工を利用し、淡路結びの練習から始まって、金魚を作りました。12名の小学生の人たちが参加したのに対して、Kids サポーター隊が10名参加し、大人のスタッフと一緒に補助にあたりました。1人2つくらいの金魚を完成させて帰ることができたようです。



週末教育事業 ミニ科学実験

7月6日(土)は、「ミニミニ科学実験」と題し、①コイルモーターを作ろう・②電気を作ろう・③紫キャベツで酸とアルカリを調べよう・④だ液で消化のしくみを知ろうという4つの学習を2時間で全て行いました。6名のKids サポーター隊とともに全員が4種類の科学実験をこなしました。右に様子を紹介します。



キャベツ溶液で酸とアルカリを調べる実験



だ液によってデンプンが分解される実験



空き容器を利用した検流計

週末教育事業のロゴマークです。



スタッフの目印や

教室の雰囲気作りに

8月21日(水)までに教育センター(64-8801)までお申し込み下さい。途中参加もOKです。

午後からです!

欲しい本を探してみてください!

教育センターでは、退職された先生が活用していた教育書籍を、欲しい先生方がいれば持ち帰っていただいています。研修や会議などの際には一度ご覧になってみてください。すでに数十冊は持ち帰られましたが、探してみると、まだ興味を持ってそうな本が見つかるかもしれませんよ。



センターCafe レポート



A先生
若い先生たちとの輪が広がる機会があるのはいいなあと今日改めて思いました。また立ち寄りたいなと思います。

B先生
教師だけでリラックスして話せる場所はあまり無いので、とてもありがたかったです。また何かお手伝いできることがあればさせていただきます。

今年から始めた「センターCafe」ですが、第1回が6月15日、2回目が6月29日に教育センターで行われました。職場ではなかなか余裕がないことが多いかもしれませんが、休日の午前中に、互いがリラックスした状態で世間話や今考えたり困ったりしていることを気楽に話せるのはとても有意義であったと感じていただけようです。センター長の若い頃の話に始まり、参加者同士でのフリートークや、個々の課題に応じた研修や相談の機会も設けました。



第2回の様子

★第3回センターCafeは…★

日時：8月24日(土) 13:30~15:30
場所：教育センター 多目的スペース

内容：◆第1部 13:30~14:30
・先輩教員からのメッセージ
・グループでの交流(フリートーク)
◆第2部 14:30~15:30
・個々の課題に応じた研修
【例】学級経営・授業づくり
パソコン操作など各種相談

授業づくりにも役立ちます。要望に応じて内容を変更することも可能です。

簡単な理科実験
①クリップでモーターづくり
②顕微鏡でミクロの世界
・すぐできるものづくり
①小枝でおもちゃづくり
②切り絵でうちわづくり

さくら RESTAURANT が大盛況!

Curry!



会場設営



配膳準備



64名が昼食に

6月25日(火)さくら教室主催の「さくらレストラン」が行われました。1ヶ月前から計画を立て、1週間前には試食を行い、準備万全で当日に臨んだところ、64名の方が訪れ、賑やかに昼食時間を過ごしました。メインはカレーライスですが、サラダもデザートの「半分、青い。」ゼリーも大好評でした。